

給食だより



令和3年1月
富岡市学校給食センター

あけましておめでとうございます。今年も安心して食べていただける安全な給食を提供できるよう、給食センター職員一同力を合わせて頑張りますので、よろしくお願いいたします。

日本の学校給食の歴史を知ろう！1月24日～30日は全国学校給食週間

明治22年(1889年)

132年前



おにぎり 焼き魚 漬物

山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちに昼食を提供したことが、学校給食の始まりと言われています。忠愛小学校はお寺の中にあり、お坊さんたちが食事を作って出してくれたそうです。

その後、学校給食は日本全国に広まりました。

昭和15年～19年頃

81～77年前

戦争が始まり食糧不足になって、学校給食は中止される所が多くなりました。たくさん子どもたちがいつもお腹を空かせていて、栄養失調になったそうです。成長もうまくいかず、当時の小学校6年生の体格は、今の小学校4年生位だったそうです。



おなかすいたよ～

昭和21年12月24日(1946年)

75年前

戦後、日本の子どもたちの栄養状態を改善しようと、アメリカのLALA(ララ)という民間団体から送られた脱脂粉乳や小麦粉、缶詰等の物資を使った給食が再開されました。この日に物資の贈呈式が行われ「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、翌年から1月24日～30日を「全国学校給食週間」としました。



大きなコッペパン 脱脂粉乳

クジラ肉の竜田揚げ

昭和50年頃(1975年)

46年前

ご飯給食が始まって、カレーライスが人気メニューになりました。昭和39年頃からは、脱脂粉乳からピンの牛乳へ。次いで、昭和50年代にはテトラパック牛乳、そして、平成時代に入ると現在のような四角い紙パックの牛乳になりました。



カレーとスープの位置が逆ですね。すみません…

令和時代 今の給食

カレーライス ピンの牛乳 サラダ スープ バナナ



リクエストメニュー

時代と共に様々に変化してきた学校給食。今では献立もバラエティー豊かになり、いろいろな料理が提供されるようになりました。その反面、近年では食習慣の乱れや偏った食事による肥満、やせ過ぎ、生活習慣病の増加などが見られるようになり、学校給食は食育を推進するための「生きた教材」としての役割も担うようになりました。

受験期の食事

冬休み明けには、いよいよ入学試験が始まります。この時期、体調管理のためにも、何でも食べて栄養バランスを整えましょう。特に、野菜を意識して食べましょう。受験当日は、いつもの朝食をよくかんで食べるようにしましょう。体が暖まるように、温かい汁物や飲み物もおすすめです。給食センターからも、みなさんが希望の進路に進めるよう、祈っています。



朝ごはん